

【重点審議事項の論点整理について（環境・農水常任委員会）】

重点審議事項	委員会における取組状況	主な論点	委員会における主な意見	備考
<p>複雑化する環境問題に対する取組</p>	<p>平成 28 年 5 月 18 日 常任委員会            ・平成 28 年度中に策定、変更が予定されている計画等について            平成 28 年 6 月 16 日 常任委員会            ・赤野井湾におけるホンモロコの産卵状況について            平成 28 年 7 月 13 日 常任委員会            ・水草・オオバナミズキンバイ等の状況について            平成 28 年 7 月 20 日 県内行政調査（県営みずすまし施設 白鳥川中流 1 期地区）            ・施設の概要について            平成 28 年 8 月 10 日 常任委員会            ・国立環境研究所の一部移転について            平成 28 年 9 月 14 日 常任委員会            ・外来魚の生息量について            ・滋賀県域からの温室効果ガス排出実態について（2013 年度確報）            平成 28 年 10 月 5 日 常任委員会            ・平成 28 年度滋賀県一般会計補正予算（第 2 号）            平成 28 年 12 月 15 日 常任委員会            ・第 7 期琵琶湖に係る湖沼水質保全計画の原案および意見・情報の募集について            ・滋賀県低炭素社会づくり推進計画の改定素案について            平成 29 年 1 月 25 日 常任委員会            ・滋賀県域からの温室効果ガス排出実態（2014 年度）について</p>	<p>オオバナミズキンバイ、水草について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長期的な視点で見たとき、十分に対応できなければ、よりお金がかかってしまうことになるので、見つかったらすぐに対応することを徹底していただきたい。</li> <li>・オオバナミズキンバイの繁茂により、危機的な状況にあることをしっかりと国に認識いただくべきである。</li> <li>・外来性植物の駆除の主体は国にある訳であり、滋賀県は下請ではないので、責任を負っていただくためにも、もっと意見するべき。</li> <li>・滋賀県にとっての正念場であることから、継続的に取り組むためにも、次年度の予算だけでなく人員的な体制についても、総務サイドに提言してきちんと整えることが必要である。</li> <li>・根本的に水草やオオバナミズキンバイを管理できる技術が、今、必要とされていることから、そういった技術を県や国の専門機関でしっかりと研究して、管理できるようにされたい。</li> <li>・水草を除去しきれなければ、沈殿してヘドロ化するのではないかと考える。ヘドロ化すればまた別の問題を生むことも考えられることから、しっかりと対処いただきたい。</li> </ul>	
		<p>琵琶湖の水質について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・代かきによる濁水を琵琶湖に流さないための取り組みも徹底されたい。</li> <li>・烏丸半島のハスが今年全く見られないことなど、琵琶湖において目に見えない異変が生じていると感じざるを得ないことから、国立環境研究所の方と連携して研究をされたい。</li> <li>・琵琶湖にもマイクロプラスチックが漂っている状況にあり、有害物質とは言いきれないかもしれないが、環境にはよくないものとして監視する必要があるのではないかと。</li> <li>・漁業をされる現場では、琵琶湖や河川の漁獲量の減少に下水道処理水の影響を感じておられる方が多い。現場の方の御意見に耳を傾け、その観点を生かして琵琶湖の水質や魚への影響について研究を行うべきである。</li> </ul>	

重点審議事項	委員会における取組状況	主な論点	委員会における主な意見	備考
	<p>・滋賀県低炭素社会づくり推進計画の改定原案および意見・情報の募集について 平成 29 年 1 月 25 日 県内行政調査（南部流域下水道事務所）</p> <p>・処理水の影響に関する研究と施策の連携について 平成 29 年 2 月 8 日 常任委員会</p> <p>・（仮称）滋賀県農業・水産業温暖化対策行動計画について ・アユ資源の状況について 平成 29 年 3 月 8 日 常任委員会</p> <p>・滋賀県農業・水産業温暖化対策行動計画（案）について ・アユ資源・漁獲の状況等について</p>	<p>外来魚・在来魚について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホンモロコを放流しても、移動している間にオオクチバスの餌になることが心配されるため、電気ショッカーボートでの駆除の回数を増やしていただきたい。</li> <li>・チャネルキャットフィッシュが増えている傾向があるので、ブルーギルやオオクチバスと同じような問題とならないよう、早めに対処されたい。</li> <li>・今年度の外来魚の駆除作業が予算の都合により中断してしまっているが、もし中断していなければ、かなりの外来魚の捕獲が見込めたと考える。次年度からは、中断なく継続して外来魚の捕獲に取り組まれない。</li> <li>・外来植物の事例では対策が後手後手に回ってしまったところがあるので、外来魚の駆除作業の予算が不足して取り組みが中断したばかりに後年更に予算が必要になるということにならないよう、しっかりと予算を組んで、効果の出る取り組みを国と連携して実施していただきたい。</li> <li>・今年度のアユ（氷魚）の漁獲量減少は、琵琶湖の環境が変化したものと思わざるを得ないことから、原因について究明されたい。</li> </ul>	
		<p>温暖化対策について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで環境先進県として地球温暖化について県民の意識醸成を行ってきたところであり、県民にも関係する取り組みを変更する場合は、県民の皆さんに理解していただけるように十分に配慮した形で説明を行っていただきたい。</li> <li>・現在、法律で定められている緑化推進以外の取り組みも、滋賀県として推進していったらどうか。</li> <li>・温暖化が進む中、農業、水産業での適応策を推進することは重要であるが、温暖化対策が軽視されないように緩和策とのバランスを取った取り組みに努められたい。</li> <li>・温暖化対策の取り組みは農業、水産業従事者にとっては負担も多いことから、その取り組みの重要性についてわかりやすい啓発を行われたい</li> </ul>	

重点審議事項	委員会における取組状況	主な論点	委員会における主な意見	備考
グローバル化に対応した農林水産業の振興	<p>平成 28 年 6 月 15 日 常任委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タイェックス 2016 の出展結果報告について</li> </ul> <p>平成 28 年 12 月 14 日 常任委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トッププロモーションについて</li> </ul>	<p>県産品の海外セールスについて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 海外への輸出が増えることが、食肉センターの経営が上手くいくことにつながるので、ここはという販路があれば、積極的に売り込む努力は必要だと思う。</li> <li>・ 近江米や近江牛を売るときに、滋賀県の暮らしなどのいろいろな背景を付加価値として情報があると、SNS の活用は広がると考える。税金をかけてプロモーションを行うのもいいが、現地の発信力のある方を取り込んで発信していく方がローコストで成果が出やすいと考える。</li> <li>・ 輸出に向けてプロモーションを行われたのであれば、その結果としてどのような成果が出たのか、そして費用対効果についても抑える必要があると考える。</li> <li>・ 海外進出について、滋賀県としてどう取り組んでどんな成果が出ているかということ、県民に分かりやすい形で報告をするべきである。</li> </ul>	
人口減少に対応した環境分野・農政分野の取組	<p>平成 28 年 5 月 18 日 常任委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 28 年度琵琶湖環境部の主要施策について</li> <li>・世界農業遺産の認定に向けた取り組みについて</li> </ul> <p>平成 28 年 6 月 16 日 常任委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・琵琶湖博物館第 1 期リニューアルオープンについて</li> </ul> <p>平成 28 年 7 月 13 日 常任委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公益法人等の経営状況説明（(公)国材湖沼環境委員会について）</li> </ul> <p>平成 28 年 7 月 20 日 県内行政調査（旧 R D エンジニアリング最終処分場）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二次対策工事の状況について（アグリパーク竜王）</li> <li>・施設の概要と取組状況について</li> </ul>	<p>農業・林業の担い手について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 木の成長まで相当な期間がかかるのが林業であることから、川上から川下まで、さまざまな場所において人材育成は必要である。林業を支えていく人たちの成形が成り立つような産業製品をつくっていくための企画を県でも行っていくことが必要だと考える。</li> <li>・ 女性の方が農業を行うには多くの課題があり、それを女性農業者の方たちが手弁当で相談に乗っている状況がある。そういった方たちを行政としてサポートする体制を検討されたい。</li> <li>・ 農業の担い手対策として生産販売施設の整備を行うのであれば、施設を整備するだけでなく、品ぞろえや施設の運営など十分にコーディネートされないとせっかくの地産地消が生かされない。</li> </ul>	

重点審議事項	委員会における取組状況	主な論点	委員会における主な意見	備考
	<p>平成 28 年 8 月 10 日 常任委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・しがの林業成長産業化アクションプランの骨子案について</li> </ul> <p>平成 28 年 10 月 6 日 常任委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 28 年度滋賀県一般会計補正予算(第 3 号)</li> <li>・出資法人経営評価の結果((公)滋賀県農林漁業担い手育成基金について)</li> </ul> <p>平成 28 年 11 月 10 日 県外行政調査(岩手県林業技術センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・林業振興のための技術開発および人材育成について</li> </ul> <p>平成 28 年 11 月 24 日 県民参画委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・しが農業女子 100 人プロジェクトとの意見交換</li> </ul> <p>平成 28 年 12 月 15 日 常任委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・琵琶湖流域下水道地方公営企業適用基本方針(案)について</li> <li>・しがの林業成長産業化アクションプランの原案および意見・情報の募集について</li> </ul>	<p>滋賀県を次世代へつなぐ取り組みについて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界農業遺産に認定されることで、滋賀県産の米の需要が増え、生産者が生産に励めるような形の世界農業遺産登録としてほしい。</li> <li>・琵琶湖環境部には造林公社の償還金や、クリーンセンターの出損金、旧 RD エンジニアリングの最終処分場の行政代執行などの費用を一般財源から手当てをしている。これからも長く負担の残ることであり、反省と滋賀県の将来に生かすためにも、県の責任として原因や経緯も含めた公式な記録を残すべきである。</li> <li>・琵琶湖の生態系を維持するためには県民の協力が必要であり、県民の意識の醸成のためにも、琵琶湖博物館を滋賀県が琵琶湖を今後どうしていくかということをしっかり問題提起できるような施設としていただくよう検討いただきたい。</li> <li>・琵琶湖博物館のリニューアルで整備される学校向け交流・体験ゾーンは、うみのこや学校と連携した環境学習の場としていただきたい。</li> <li>・ラムサールびわっこ大使事業に参加している子供たちが、中学生、高校生、大学生あるいは社会人になっても、こういう経験を生かして琵琶湖の環境整備など色々かかわってもらえるようなフォローをできる仕組みづくりをつくっていただきたい。</li> <li>・過疎化が進むことで、田畑や森林の機能が維持できなくなり、多面的な機能が落ちてくることが考えられることから、今後、環境負荷等を考えていく時に、人口減少の観点から議論をすることも必要ではないか。</li> <li>・琵琶湖保全再生計画の中で山や田んぼを守るという記載があり、今の人口減少に直面している地域はそういった機能を維持されていることが多い。流域下水道地方公営企業とするにあたっては、そういった外部効果も一定評価し、都市部の人を受けているメリットを還元するような仕組みを考えていただきたい。</li> </ul>	